

(仮称) 防災コミュニティセンターについて

1 現状

(仮称) 防災コミュニティセンター整備工事の進捗状況ですが、地下部分の掘削を行うにあたり、事前に周りの土砂等が崩れてこないよう「山留工事」を行います。その際に杭を打ち込むのですが、設計段階のボーリング調査では予測できなかった転石等が地中に大量にあり、山留工法の変更を余儀なくされ工期も延長する結果となりました。

2 地盤改良

現在は、山留工事及び1次掘削工事が終了し、今後、建物本体の杭工事を実施しますが、山留工法の変更の際に問題となった、地下の転石等を確認するため、5箇所追加のボーリング調査を実施したところ、地下水の吹き出しが確認され、所々に転石等はあるものの全体的に軟弱地盤のため、杭打機（重量 100t）が地面に沈み込み、転倒する可能性が大きいとの結論となりましたので、敷地内に杭打機が進入するためには、おおむね敷地全面（別紙参照）の地盤改良（土にセメントを混ぜ、地盤面を固くする工事）が必要となりました。

3 基礎の計画変更

地盤改良を施し、本体基礎杭の打設を実施しますが、地中に転石が多い場合、転石を削りながら杭を打ち込むため施工日数が増加し、また、杭が地中の転石に当たった際に杭の芯がずれる（杭が真っ直ぐではなく若干斜めになる）可能性があり、杭のずれ具合に合わせ、基礎形状が変わることによって、建築確認申請上の計画変更が必要となり、工期が増加します。

4 工期

右の表のとおり、当初の計画では、山留・掘削が11月の後半に終了する予定でしたが、実際は転石等により工期が遅れ、さらに地盤改良を平成30年1月中旬から実施、計画変更等も考慮すると、現状で約半年の遅れが出てしまう計画となります。

(仮称) 防災コミュニティセンター工程表（予定）

項目	平成 29 年度				平成 30 年度			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
当初		準備・仮囲 山留・掘削	杭打・掘削	基礎 建方	本体工事			
変更工程 (予定)		準備・仮囲 山留・掘削	ボーリング調査 地盤改良・杭打・掘削	計画変更・施工検討	基礎 建方	本体工事		

5 (仮称) 防災コミュニティセンター現状写真



地盤改良予定範囲図

町民体育館

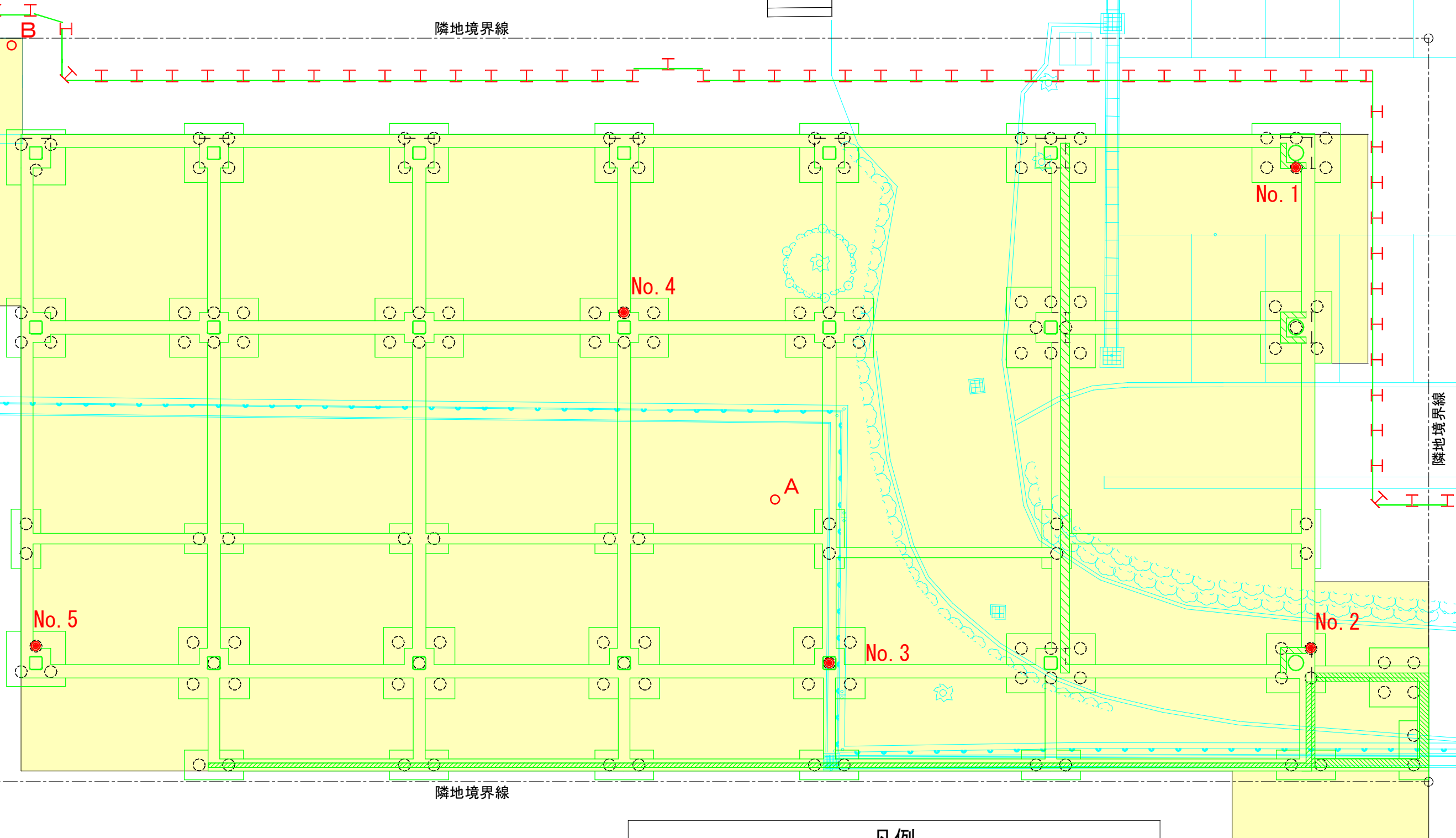
隣地境界線

隣地境界線

隣地境界線

道路境界線

ゲート



凡例

- . . . 実施設計時ボーリング調査箇所
- . . . 追加ボーリング調査箇所
- . . . 地盤改良範囲 (深さ1.3m)